

令和6年度 第2回 横浜市環境影響評価審査会 会議録

日 時	令和6年5月23日（木）9時30分～10時30分
開催場所	横浜市役所18階 みなと4・5会議室
出席委員	奥委員（会長）、菊本委員（副会長）、石川委員、稲垣委員、上野委員、片谷委員、酒井委員、田中修三委員、田中伸治委員、中西委員、藤井委員、藤倉委員、宮澤委員、横田委員
欠席委員	田中稲子委員
開催形態	公開（傍聴者 7人）
議 題	2027年国際園芸博覧会 環境影響評価準備書について
決定事項	・令和6年度第1回横浜市環境影響評価審査会会議録を確定する。
<p>議事</p> <p>1 令和6年度第1回横浜市環境影響評価審査会会議録を確定した。</p> <p>2 議題</p> <p>（1）2027年国際園芸博覧会 環境影響評価準備書について</p> <p>ア 指摘事項等について事務局が説明した。</p> <p>その中で、第1回環境影響評価審査会後の菊本副会長及び片谷委員への確認状況について説明した。</p> <p>【事務局】 指摘事項 17-2-22、17-2-23 について、審査会終了後に事務局から菊本副会長に当日の内容をお伝えしたところ、補足説明は不要とのことでした。</p> <p>指摘事項 17-7-10 について、審査会終了後に事務局から片谷委員に当日の内容をお伝えしたところ、補足説明は不要とのことでした。</p> <p>イ 質疑、特になし</p> <p>ウ 検討事項について事務局が説明した。</p> <p>エ 質疑</p> <p>【奥会長】 ありがとうございます。それでは、ただいま検討事項一覧について説明いただきましたけれども、委員の皆様から御質問、御意見等がございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。答申に盛り込むべき内容がこれで網羅されているかですね。</p> <p>藤井委員、お願いいたします。</p> <p>【藤井委員】 よろしく申し上げます。「動物、植物の予測評価について」のところですけれども、まずお伺いしたいのが、この堀谷戸川の件に関しては、対象事業実施区域内の話ということでよろしかったでしょうか。</p> <p>【事務局】 堀谷戸川については、対象事業実施区域外の下流でホトケドジョウが確認されていることを踏まえまして、対象事業実施区域内の「樹林が点在する広大な草地域」と「堀谷戸川左岸の耕作地域」を予測地域に加えることとしてございます。</p> <p>【藤井委員】 ありがとうございます。この後、答申を作られるときに対象事業実施区域内外の違いについて分かりやすく明記した方がいいのかと思いましたので、是非御検討をお願いします。以上です。</p> <p>【奥会長】 ありがとうございます。では、答申案文を作るときに、その（対象事</p>	

業実施区域の) 内側なのか外側のことを言っているのかが分かるように表現を御検討ください。

【事務局】

承知いたしました。

【奥会長】

よろしいでしょうか。他はいかがでしょうか。

藤倉委員、お願いいたします。

【藤倉委員】

いろいろ取り込んでいただいてありがとうございます。

大変感想のような話になるのですが、そもそもこの博覧会が GREEN×EXPO (グリーン エキスポ) ということをすごく強く謳っています。横浜市のホームページを見ると「GREEN」には「環境に優しい」という意味があるということで、主催者としても謳っていますので、GREEN×EXPO に恥じないようなしっかりとした取組を、ということを経初の「サステナブルな博覧会の実現について」の文言の中に、自分で言っているのできちんと頑張るといふ趣旨で、もう少し強く入れられると良いと思います。感想ですが、申し上げておきます。

【奥会長】

ありがとうございます。事務局は今の御意見も踏まえて、GREEN×EXPO の名に恥じないようなしっかりとした対応をお願いしたいという、そういう表現にするかは別ですけれども、そういう趣旨を盛り込んでいただくということで工夫をお願いいたします。

【事務局】

承知いたしました。

【奥会長】

他はいかがでしょうか。大丈夫でしょうか。

横田委員、どうぞ。

【横田委員】

いろいろと取り入れていただきまして、どうもありがとうございます。項目で言いますと「関連事業との連携について」ですとか、「事後調査について」のところですが、概ねこういった考え方でよろしいかと思ひます。

ただ、少し心配なのは、土地区画整理事業の事後調査の期間がきちんと定義されているかどうかということと、博覧会だからこそ生じる影響の事後調査がきちんとされるのかという点がとても大事ではないかなと思ひています。土地区画整理事業の方の事後調査計画書などを見ると、博覧会の行われる令和9年度まで土工事などが入るということで、工事期間中のモニタリングとして重要な項目に関しては行われると認識しています。一方で、博覧会が独自に取られる保全措置であったり、あるいは博覧会の関連施設の工事に関しては、やはりきちんとポイントを捉えて、事後調査というふうに位置付けられるかどうかは少し不明瞭な点がありますけれども、ここに書いていただいているとおりに事後調査を適切に実施していただきたいと思ひています。現状、準備書を見ますと、事後調査に関しては第8章に項目の選定がありまして、基本的には全部項目として選定されていないです。地域社会の交通混雑のみの事後調査になっています。ですけれども、今回、連携して行う項目に関しては、きちんと丸を付ける(項目選定する)方向で検討していただきたいということが私からのお願いです。適切に実施することと書かれておりますけれども、まず項目選定されていないことが少し引掛かっています。ですので、項目選定した上でという形に検討していただければと思ひました。以上です。

【事務局】

趣旨としては、事後調査として位置付けるということで書いています

もりなのですけど、分かりやすさという点で工夫させていただきたいと思います。

【横田委員】 ありがとうございます。よろしくお願いいいたします。

【奥会長】 ありがとうございます。他はいかがですか。

【事務局】 酒井委員が手を挙げております。

【奥会長】 酒井委員、お願いいいたします。

【酒井委員】 よろしくお願ひします。

私はあまり発言しなかったということが、一連の話を聞いていて分かったのですけれども、博覧会だからこそというところで、「サステナブルな博覧会の実現について」と事業計画の最初のところで生物多様性の保全にも取り組むことと書いてあり、具体的に項目として生物多様性のところを見ると、動物はホトケドジョウ、植物は大径木という割とピンポイントの指摘になっていて、そこの間のギャップが少し大きいと思いました。

何を指摘したら良いかということだと思うことは、もう少し理念を具体的に反映させるもう一つ上のスケールの話で、例えば、先ほど本来の生態系を生かした部分もあるという話も出ていましたけれども、この地域本来、本来というのはおかしくて本来ではないのですけれども、それでも地元で愛されてきた本来と言ってもいい、あえて言いますけれども、この地域の本来の生態系に新たに人為的に園芸博覧会なので大量の植物を持ち込んで、庭、造園というある意味人工的な生態系を作るという言い方をしてもいいかと思います。つまり本来の自然に、人工的な生態系をミックスさせるということ、それが地域の緑環境にどのような影響を及ぼすのかについて、創造的に、新たな緑環境の創造と言ってもいいかと思います。そこは、私は前向きに評価してもいいのではないかと思うのですけれども、それが具体的にどういうものなのか、それをそのまま総括して次の公園整備事業に引き継ぐと、土地区画整理事業とそれから公園整備事業の中間にあるものだけでも、博覧会で何が行われてどうなったのかということを中心に総括して、次に引き継ぐというところを事業者をお願いしたらいいと思いました。

着眼点としては、地域の生態系に人工的な生態系を上手にミックスさせて、より良い緑環境を作るということをポジティブに捉えて、実態なり、その効果なりあるいはネガティブなこともあればそれも含めてきちんとデータ化をして、次の公園整備事業に引き継いで、さらにコンセプトが生かされるような方向、そのための基礎データを提供してほしいという趣旨を盛り込んでいただければと思いました。お願いします。

【奥会長】 盛り込むとすると、今の御意見ですと全般になりますかね。

【酒井委員】 そうですね。冒頭の事業計画のところの「サステナブルな博覧会の実現について」には生物多様性が出ているのですけれども、次の評価項目の全般の「サステナビリティ戦略等との関係について」では、温室効果ガス、廃棄物というところに注目されていて、生物多様性という観点が入っていないですね。その下の生物多様性の項目ではすごく具体的なことになっているので、全般のところの「サステナビリティ戦略等との関係について」のところに入れていただければいいのではないかなと思います。具体的な文言については、今、頭の中で考えながら話したので、

そのままというわけには多分いかないかと思うのですけれども、お願いできればと思います。

【事務局】 事務局でございます。

【奥会長】 どうぞ。

【事務局】 御意見ありがとうございます。今、御意見いただきましたように、「サステナビリティ戦略等との関係について」の中に生物多様性の要素を盛り込むか、全般の中でもう一つ項目立てをするのか、あるいは「全て改変される可能性について」のところで生物多様性にも触れている項目がございますのでそちらに盛り込むのか、事務局の方で案を検討させていただければと思います。

【奥会長】 「サステナビリティ戦略等との関係について」のところか、「全て改変される可能性について」の方が良いかもしれません。

【酒井委員】 内容的にはそうかもしれないですね。そうですね、検討事項の題名「全て改変される可能性について」のところをもう少し包括的な言い回しにして、でも、お任せします。他とのバランスもあるかと思います。

【奥会長】 そうですね、ここの表現も改変の可能性だけではなく、もう少し意味合いを入れてということですね。より良い新たな環境を創造していくという要素も入れた方が良いということ。

【横田委員】 関連してよろしいでしょうか。

【奥会長】 はい、どうぞ。

【横田委員】 今の関連ですけれども、「全て改変される可能性について」は私が発言させていただいた部分で、これは草地に関して特に意識していただきたい部分で、これは独立させた方が効果的かと思っています。私も「サステナビリティ戦略等との関係について」のところに、酒井先生がおっしゃられた内容はとてもよく当てはまるのではないかなと思っています。温室効果ガスと廃棄物の削減の前に、サステナビリティ戦略の目標の1、2番目に生物多様性、水循環という観点がきちんと入っていますし、博覧会としてはグリーンインフラを打ち出しているのも、やはりグリーンインフラと打ち出すからには生物多様性に配慮したグリーンインフラである必要がありますので、そういった観点をきちんと配慮することも含めて、戦略としてきちんと持っていただくことが大事かと思っています。コメントです。

【奥会長】 ありがとうございます。

それでは、今いただいた御意見も踏まえて、今の御意見は「サステナビリティ戦略等との関係について」で書いた方がいいのではないかなということなので、事務局で御検討いただいて、酒井委員の御発言の趣旨が表現できているかというところを確認いただいて、答申案の方を作っていただければと思います。

【事務局】 稲垣委員が挙手されています。

【奥会長】 はい、どうぞ。

【稲垣委員】 今の御議論、御発言に関連して、私は防災で雨水の流出量の話などに関心がある立場なのですけれども、生物多様性だけでなくやはり資源循環、水循環という辺りも含めて、今回の博覧会、さらにその先の未来を見据えて周辺の地域にもいろいろと影響を与えるような気がしておりますので、大きな枠組みについて、生物多様性プラス資源循環、水循環と

いう形で追記いただけたらと思いました。よろしくお願いいたします。

【奥会長】 ありがとうございます。「サステナビリティ戦略等との関係について」というところで、資源循環の視点もということによろしいでしょうか。

【稲垣委員】 はい、よろしくお願いいたします。

【奥会長】 ありがとうございます。事務局もよろしいですか。

【事務局】 全般の「サステナビリティ戦略等との関係について」の中に、先ほど酒井委員から御意見をいただきました生物多様性の観点と、稲垣委員から御意見をいただきました水循環の要素も盛り込む形で、案を検討させていただければと思います。その上で、酒井委員と稲垣委員に文案を御確認いただくという方向性によろしいでしょうか。

【奥会長】 それでよろしいかと思えます。

【事務局】 承知いたしました。よろしくお願いいたします。

【奥会長】 他はいかがでしょうか。挙手されている方はいらっしゃらないですか。

温室効果ガスについては、意見を出された田中稲子委員が本日御欠席ですので、事務局から田中稲子委員に確認をお願いいたします。

【事務局】 承知いたしました。

【奥会長】 それでは、「サステナビリティ戦略等との関係について」で追加をお願いするところがございますので、そちらは酒井委員と稲垣委員に御確認いただいて、それから田中稲子委員にも御確認いただいて、御意見を踏まえて答申案の作成を事務局の方でお願いしたいと思えます。

【事務局】 承知いたしました。

【奥会長】 それでは、本件に関する調査審議は、本日はこれで終了となります。本日の審議内容につきましては、後日会議録案で御確認いただきますようにお願いいたします。

以上をもちまして、本日予定されていた議事は全て終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。

【事務局】 本日の審議については終了いたしました。傍聴の方は御退出をお願いいたします。

(傍聴者退出)

資 料 ・ 2027年国際園芸博覧会 環境影響評価準備書に関する指摘事項等
一覧 事務局資料
・ 2027年国際園芸博覧会 環境影響評価準備書に関する検討事項
事務局資料